学校番号	３１７

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新情報の科学 新訂版（実教出版）						
副教材等	ポイントでマスター 基礎からはじめる情報リテラシー Office2016 対応　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報社会で生きる私たちは、普段何気なく情報システムや情報サービスを利用しています。これらがどのような技術で支えられているかを知るために、たとえばインターネットやコンピュータの仕組みについて学びます。また、これらを利用する上でのモラルやマナー・法律、トラブルの対処法も身につけましょう。

コンピュータの操作を含めた情報機器の活用を習得するための実技・実習も行います。

情報社会における「未来の社会人」として、皆さんが活躍するための基礎となる力を育んでいくための新しい教科です。苦手意識を持たずに、積極的に取組んでください。

2　学習の到達目標

１．情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させる。
２．情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させる。
３．情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響や課題に関心をもつ。情報技術を活用し、情報社会で活躍できるよう積極的に参画する態度を身につけている	問題解決を適切に行うための情報収集･情報分析ができる。またコンプライアンスや情報モラルの観点で、適切な情報の受発信ができる。	情報機器を使って、情報の収集・整理・分析・情報発信ができる。	情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけている。情報や情報技術・システムの社会的意義や役割を理解している。
評価方法	・授業態度 ・ワークシート ・ペーパーテスト	・ワークシート ・ペーパーテスト ・実技実習成果物	・実技実習成果物	・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	序章「社会と情報」とは	・オリエンテーション ・情報社会で学ぶ意義 ・情報社会で求められる力	○	○	○	○	ab:「情報」とは何か自ら考えている c:コンピュータ教室でのルール、コンピュータ起動や終了・基本的な利用方法を習得 d:自己評価を通じて自身の課題を見つけられる	ワークシート
	第1章　情報社会と私たち	1. 情報社会 ・情報や知識についての意味 ・情報のディジタル化によるコミュニケーションの変化 ・情報化が人類にもたらしている「光」(利益など)と「影」		○		○	b:情報機器を利用した自身の生活を省み、より適切な判断をしようとしている、知的財産権とその保護の目的を理解する d: ディジタル化された情報の正しい利用方法, コミュニケーションの特徴を理解している	ワークシート ペーパーテスト
		2. 情報とメディア ・情報の残存性, 複製性, 伝播性など情報社会における情報の特徴 ・情報とメディアの関係, メディアの分類を理解する。 ・各表現メディア・情報メディア(マスメディア・インターネット等)・伝達メディア(記録・通信メディア)の特性について ・情報の信憑性, 信頼性、・メディアリテラシーとは何か	○	○		○	a: メディアリテラシーに沿って情報を取り扱う態度がある b: 情報の特徴やメディアの種類や構成について考え, 状況に応じてメディアを選択できる d: 情報やメディアの特徴, 分類, 特性についての知識があるか、情報の信憑性や信頼性を理解している	ワークシート ペーパーテスト
		3. 情報モラルと社会のルール ・個人情報や知的財産など、保護して利用すべきものを正しく扱うための法律や判例を知る	○	○	○	○	a: 著作権を侵害しないように著作物を利用する態度を身に付けているか。 b: 個人情報について考え, 管理する判断力がある c: 課題レポートに参考資料の出典先を明記している d: 情報や知的財産等に関する法律や権利について知る	ワークシート ペーパーテスト、レポート
	2章　情報	1. ディジタル情報機器 ・情報機器の種類と特徴, インタフェースについて学ぶ。				○	d:情報機器の種類と特徴について理解している	ワークシート ペーパーテスト

		2. ディジタル表現 ・アナログとディジタルの意味 ・ディジタル化のメリット ・情報のディジタル化（文字・音声・画像など）のしくみ ・情報量の概念と単位 ・2進数・10進数・16進数について学ぶ	○	○	○	○	a: 情報のディジタル化に関心があるか b:情報量を適切な単位で表現できる c:２進法・１０進法・１６進法の変換ができる d：ディジタルと情報量について理解している	ワークシート ペーパーテスト、実技実習成果物
	3章　表現と伝達	1. 表現の工夫 ・情報伝達する際の留意点について学ぶ	○		○		a:意欲的に企画書やチラシの作成に取組んでいる c:ワープロソフトを利用し、画像やグラフ・図表などを用いて表現できる	ワークシート 実技実習成果物
		2. 表計算ソフトの利用 ・表計算ソフトの扱い（入力、四則計算、関数、絶対参照、グラフ、抽出、並べ替え）	○		○		a: 積極的に表計算ソフトの演習課題に取組んでいる c:表計算ソフトを利用して、目的の課題をクリアできる	ワークシート 実技実習成果物
		3. プレゼンテーション ・プレゼンテーションの実施の流れ、作成やリハーサル、評価方法について学ぶ ・自らテーマを定め発表する	○		○		a: 意欲的にプレゼンテーションの発表準備を行う c:自らの考えを調べ、まとめた考えをプレゼンテーションソフトを利用して資料にし、人前で発表できる	ワークシート 実技実習成果物
	4章　コミュニケーションとネットワーク	1. コミュニケーション ・コミュニケーションの分類について理解する。 ・インターネットを利用したコミュニケーションの種類、利用の際のルールとマナーについて知る	○	○			a:メールやＳＮＳなどのコミュニケーションツールに興味を持っている b:目的に適したコミュニケーションの方法を選択・活用できる	ワークシート ペーパーテスト
		2. ネットワーク ・パケット交換方式について理解する ・様々なネットワークの仕組み(プロトコル・IP アドレス・ドメインなど)を理解する	○	○		○	a:インターネットの特性や仕組みに興味を持っている b:ネットワークの通信方式の相違を判断できる d:プロトコルや LAN の基本知識がある	ワークシート ペーパーテスト
		3. 情報セキュリティ ・コンピュータウイルスの種類と対策について理解する ・暗号化、アクセス制御について	○	○		○	a:コンピュータウイルスやサイバー犯罪の被害にあわないように対策を立てようとしている b:情報セキュリティの驚異に対する対策を正しく判断し対処することが出来る d:情報セキュリティ技術の知	ワークシート ペーパーテスト

							識があり、対策の必要性を理解している	
	5章　情報社会と問題解決	・社会における様々な情報システムや、これらを安定稼動させる設計について学ぶ ・クラウドコンピューティングの概要を知る ・ユーザビリティやユニバーサルデザインなど、情報の受手のことを考えた工夫について知る ・情報社会における問題点（サイバー犯罪、セキュリティ、ディジタルデバイドなど）について知る	○	○	○	○	a:情報社会の課題に対して、解決に向けた提案を考えている b:情報システムやコンテンツ利用において、全ての人にとって使いやすい観点で設計する観点を持っている c:ユーザビリティを意識して、コンテンツの作成ができる d社会における主な情報システムとその内容、また社会を支える仕事に関する知識がある	ワークシート ペーパーテスト、実技実習成果物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。